



檜原学区

KATAGIHARA

DATA

人口 14,676人

世帯数 6,308世帯

面積 1.864 km²

※平成27年国勢調査
に基づく推計人口
(平成31年1月1日現在)

檜原は東西に走る丹波街道(山陰街道)の宿場町として古くから栄え、学区には今も参勤交代に使われた本陣や町家などの伝統的な街並みや寺社が数多く残っており、京都市の西京檜原界わい景観整備地区に指定されています。



檜原というところ・その魅力

檜原地域は、かつては旧山陰街道と物集女街道を中心に集落が集まる他は一面に田畑が広がっていましたが、今日では小学校には約800名が学び、西京区で最も人口の多い地域となりました。

このことは、交通至便の地という魅力に加え、子育て世代が安心できる地域であったことも挙げられます。その檜原は、かつては宿場町として栄え、本陣跡や古代寺院跡の史跡公園、神社・寺院、旧山陰街道の町並みなど歴史・文化が息づくとともに田園風景が今なお残り、恵まれた地域環境であることも大きな魅力です。

また、「檜原夏まつり」や「学区民体育祭」などは、居住の長短や老若男女を問わず大勢の学区民が小学校のグラウンドいっぱいに集う大きなイベントとして定着しています。

このような魅力ある檜原を24の自治会や各種団体とともに引き続き「住んで良かったと実感できる檜原」を希求していきたいと思ひます。

そして、まだ自治会未加入の皆様には、この機会にぜひ自治会の一員として加わっていただきますようお願い申し上げます。

(檜原自治連合会 会長)

檜原公会堂に寄せて

檜原学区の古くからの要所のひとつである檜原公会堂は、旧山陰街道沿いに位置し、町並みは京都市の条例で「景観整備地区」(町並み保存)に指定されています。入口の両側の桜は、かつて宿場町として栄えた街道を彷彿とさせてくれます。

公会堂は檜原自治会集会所として運営され、「第11区投票所」、檜原社会福祉協議会の「健康すこやかサロン」、「地域の子供たちのイベント」、「三味線」や「謡曲」の練習所等、多目的な集いの場所となっています。その檜原公会堂が、平成30年度さらに多目的に運用され郷土愛を育む拠点として改築されました。

公会堂と檜原本陣跡の小径を抜けると、弁天池の木立を背景に小川や畔道、田畑の広がる檜原の原風景が残されています(上記写真参照)。鶯、ジョウビタキ、イカルなどの野鳥、土筆、露、蓮華草、柿、栗、梅など四季折々の姿を観ることができます。

檜原学区は、このような風景を残している一方、次々と田畑が宅地造成され、若年人口が増加しています。

行政の動きや、自治連合会の安心・安全に暮らせるまちづくりの取り組み、学区民の方々の参加できるイベントなどをご理解いただき、自治会未加入の皆様も是非、自治会の中で一層豊かな地域となるよう共にまちづくりに参加していただきたいと思っています。

旧山陰街道近くに住むある人による街道の俳句
「掌に 桜の実落つ 常夜燈」「白壁の 倉と蓮華田 春の夢」

(檜原自治連合会 広報部)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・年 間 行 事	・檜原小学校教職員歓迎会 ・自治連合会総会	・防犯推進委員会総会 ・檜原まつり(子ども神輿巡行 三宮神社)	・学区内一斉清掃 ・市民集団検診(檜原学区)	・史跡公園清掃 ・檜原小学校施設管理委員会	・敬老会 ・史跡公園清掃	・学区民体育祭 ・西京区民ふれあいまつり ・学区内一斉清掃	・檜原自主防災訓練 ・西京区民ふれあいまつり	・年末防犯パトロール ・檜原消防分団出初式	・史跡公園清掃 ・檜原消防分団出初式	・次年度各役員等選出準備 ・次年度防犯パトロール	・事業報告・決算報告 ・年度末防犯パトロール

※上記の他に年間6回夜間防犯パトロール実施

次世代を担う方のコメント

住みよいまち、檜原

檜原小学校は少子化の中、平成30年度は児童数が803名と京都市で5番目に多い小学校です。それは地域全体で子どもたちを温かく見守っていただし、子どもたちが元気にのびのびと育まれている環境であるからだと思います。

地域・小学校・PTAが様々な活動を通じてつながり、これからも檜原が活気ある住みよいまちとして益々発展するように、PTAとして出来ることを考え、つなげて行きたいと考えております。

(檜原小学校 PTA)

わたしたちの檜原

私の住む檜原には、楽しい行事がいろいろあります。その中でも私が特に好きな行事は「学区民体育祭」と「おもちつき」です。

「学区民体育祭」は地域の子どもから大人まで楽しめる行事です。100m走に出て景品をもらったり、リレーに出てみんなに応援してもらったりするのが、私はとてもうれしいです。「おもちつき」では、毎年地域の方がおもちをついてくれます。おなかがいっぱいになりますが、おいしいのでまたひとつ、もうひとつとおもちを食べてしまいます。

(檜原小学校 5年生)



檜原が岡村と言われていた時代から人の集まりである講がいくつかあり、岡村八講といわれていました。特に三ノ宮神社の春の祭りにおいて明神講が運営していた神輿はまちの活気の象徴で、今も人々の誇りです。
(檜原自治連合会 副会長)

PHOTO GALLERY



檜原まつり



敬老会



自主防災訓練



檜原夏まつり

KATAGIHARA